

厚生文教常任委員会

- 委員長 英亮
 副委員長 静子
 委員 清水 規志
 委員 野間 高志
 委員 矢野 光
 委員 巴 美津子
 委員 沼田 富
 委員 町田 林

3月2日・3日の2日間にわたり委員会を開催し、付託議案9件を審査しました。主な質疑の内容は次のとおりです。

○令和2年度一般会計予算

問 ロタウイルス感染症の予防接種について、詳しい内容を伺います。

答 乳幼児がロタウイルスにかかること、重度の脱水症状を引き起こすことがあります。それを防ぐための予防接種になります。令和2年10月からワクチンの接種を行う予定で、約300人分の予算を計上しています。

問 昨年の6月に読書バリアフリー法が施行されましたが、本を購入する中で、拡大図書や点字図書など障害者に優しい図書の購入を見込んでいますか。

答 LLブック（簡単な言葉や絵や写真を使ってやさしく読めるように作られた本）など関連する図書について購入しているところと取り組んでいます。まだ冊数は

それほど多くありませんが、ほかの選書と合わせながら、バランス良く購入するよう取り組んでいます。



本庄市立図書館のLLブック

問 小学生を対象として、月2回土曜日の午前中に公民館等で学習支援を行うとのことですが、学習支援をする人たちはどのような活動をしている方で、どのように選ぶのでしょうか。

答 学習支援をする方は、「地域の先生」として、例えば学校応援団で協力いただいている方、地域のシニアの方、子育て支援団体の方、高校生や大学生に協力を呼びかけていきたいと考えています。また、広く公募を行い、子供の学習や体験活動にご協力いただ

る方を募集していく予定です。

問 今後、小・中学校全校に1人1台タブレットが導入される計画となっています。教員がしっかりと教えられるかどうか、課題に挙げられています。ICT支援員の配置予定について伺います。

答 ICT支援員は、現在、本庄東小学校、本庄西小学校、藤田小学校、仁手小学校、本庄東中学校に配置されています。令和2年度に残りの11校にも配置をしていく計画となっています。



タブレットを使用した授業の様子

別会計予算
○令和2年度本庄市介護保険特別会計予算
問 認知症の高齢者を見守るために、QRコードを衣服等に貼ることですが、どのようなものなのでしょうか。また、QRコード

が衣服に貼ってあるという意識が市民の方にはないと思うので、周知が必要だと思いますが、どのように考えているか伺います。
答 徘徊高齢者探知事業は、アイロン等で圧縮させてつけるQRコード付きのラベルを徘徊行動のある高齢者の方の衣服に常時つけていただくことで、発見した市民の方が、自分の携帯電話でそのQRコードを読み取り、登録情報を確認し、登録してある家族等に連絡を取っていただくという仕組みになっています。既に導入している他市町村の広報内容を参考にして、今後広報等で周知していきたいと考えています。



以上のような質疑を含め、慎重審査した結果、議案9件について、全て原案のとおり可決すべきものと決しました。

17号バイパス及び幹線道路

整備対策特別委員会

- 委員長 富司 亮博
 副委員長 林 雅寿
 委員 田中 英康
 委員 山田 道雄
 委員 清水 静子
 委員 野田 一郎
 委員 早野 清

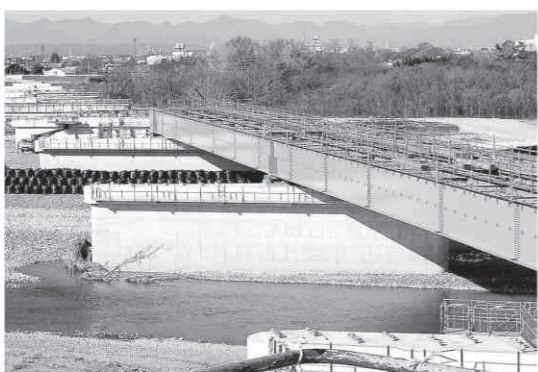
【事業の進捗状況】

国道17号バイパス本庄道路は、埼玉県深谷市岡から群馬県高崎市新町までの延長13.1キロメートルのバイパスです。本庄道路は、地域の幹線ネットワークを形成し、国道17号の交通渋滞の緩和、事故対策、神流川橋の防災・減災対策、本庄地方拠点都市地域開発の支援等を目的に整備されています。

現在、本庄市沼和田から高崎市新町までの延長7キロメートルについて、事業が進められています。

昭和9年に架設された神流川橋の架け替え工事が平成25年11月から着手され、平成30年5月末までに、橋台、橋脚計16基が完成しました。また、平成30年度より、上部工の架設工事も着手され、令和2年3月末までに埼玉県側8径間の橋桁の架設が完了予定です。

また、用地取得の進捗状況につきましては、神流川橋架替区間及び国道462号から県道沼和田



新設中の橋脚 令和2年1月20日現在

杉山線までの工区については、約9割が取得済みとなっております。残りの区間は、用地調査が完了し、用地交渉が実施されています。

【特別委員会の活動状況】

この特別委員会は、主に、国道17号バイパス本庄道路の早期整備の促進を図るため、国等関係機関への要望活動を行っています。

平成31年3月には、参議院議員会館にて公明党への要望活動を行い、公明党の西田まこと参議院幹事長、矢倉克夫参議院政策審議

会副会長にお願いいただきました。



公明党への要望活動

令和元年6月には、国土交通省大宮国道事務所を訪問し、国道17号バイパス本庄道路の整備状況について説明を受け、意見交換を行いました。また、埼玉県議会を訪問し、神尾高善埼玉県議会議長、新井豪埼玉県議会議長、埼玉県議会の自由民主党懇話会の県議会議員の皆様にお願いしていただき、17号バイパスの早期整備に向けた協力をお願いしました。

令和元年9月には、小泉龍司衆議院議員の案内で、財務省、国土交通省を訪問し、本庄市内の道路事情を説明し、17号バイパスの必要性を伝え、未事業化部分の早期事業化及び早期整備について予

算付けをお願いしました。

令和元年12月には、小泉龍司衆議院議員の案内で、自由民主党本部を訪問し、総裁応接室にて二階俊博幹事長に面会し、17号バイパス本庄道路の現状を訴え、17号バイパスの必要性を直接お伝えしました。



自由民主党本部総裁応接室にて

このような継続した要望活動により、国道17号バイパス本庄道路の国の予算は、ここ数年、前年度の予算と比較し、約5億円ずつ増えています。令和元年度当初予算は30億円となっており、令和2年度当初予算については、35億円が計上されました。

今後、1日でも早い全線開通を目指して、本庄市議会一丸となって関係機関へ働きかけを行っていきます。